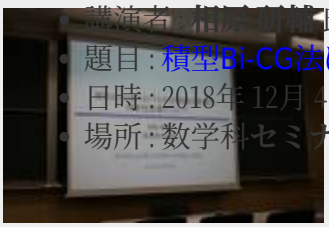
# 第14回 相原 研輔



- 講演者：相原 研輔 氏 (東京都市大学)
- 題目：積型Bi-CG法における丸め誤差の影響と収束性改善について
- 日時：2018年 12月 4日 (火) 16:30 〜 17:30
- 場所：数学科セミナー室（4号館3階）

seminar, 2018

**abstract**

大規模連立一次方程式に対して，クリロフ部分空間法（線形部分空間を広げながら解を探索する反復法群）は有効な数値解法である．その一種である積型Bi-CG法は，近似解などを短い漸化式によって更新することから，反復毎の計算量やメモリ使用量が少なく済む効率的な方法である．しかし，計算機上に実装した際に生じる丸め誤差の影響によって，理論通りに収束しないことも多い． 本講演では，積型Bi-CG法の導出について概説した上で，丸め誤差が収束性に与える影響を考察する．また，収束性を改善するためのひとつの手法として，最近講演者らが提案した残差スムージングの改良についても紹介したい．

.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

12 images

[<6>]

From:
https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/ - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:
**https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2018/014**

Last update: **2021/02/11 11:09**